

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和7年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
古平町	簡易水道事業		

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

現行の経営体制・手法で、特に問題なく健全な事業運営が実施できており、また事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から抜本的な改革の検討に至らないため。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
古平町	下水道事業	公共下水道	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

現行の経営体制・手法で、特に問題なく健全な事業運営が実施できており、また事業の規模が小さく、人員が少ない等の理由から抜本的な改革の検討に至らないため。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
古平町	介護サービス事業	老人デイサービスセンター	古平町地域福祉センター

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
				●			

抜本的な改革の取組状況

取組事項		民間活用(指定管理者制度)			
実施済	●	(取組の概要) 平成18年4月、当該施設における利用者サービス向上や経費の削減等を目的として指定管理者制度の導入を決定し、現在まで効率的・効果的な管理・運営を行うことができている。	(方式)		(実施(予定)時期)
			代行制	利用料金制	
実施予定		(取組の効果額) 百万円(年)	●		平成 18 年
検討中		(取組の概要)	(取組の効果額内訳)		4 月
			(検討状況・課題)		
					1 日

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
古平町	介護サービス事業	介護医療院	古平町介護医療院 海のまちクリニック

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

一体的に運営している診療所運営事業が、平成31年度よりこれまでの指定管理者制から町直営事業として運営しているため、令和3年事業を開始している介護医療院運営事業も同様の運営形態となっている。
当面は双方とも町直営での経営を継続し、適切な事業運営に努めていくとともに、どのような経営体制・手法が適しているのか研究しているところであるため。
なお、現時点では今後の方向性は定まっていない。